



マッチングで、 地域の生産者をつなぎ パン屋さんの挑戦をサポート!

共感の力で、「やってみたい」を実現する

交野市にある「カジパン工房」は、地元で愛されるパン屋さんです。

そんなカジパン工房の梶山様ご夫妻には、挑戦したい2つのことがありました。

1つ目は地元交野の食材をふんだんに使ったパンを作ること。

そして、**2つ目は売れ残りのパンを廃棄せず、そのパンで「地元の人助けになる取組をしたい」ということ**でした。

その想いに応えるために、当金庫 交野支店の中村が地元農家や販売店、ボランティア団体など、交野地域で活躍する様々な人を紹介し、マッチングを通して、梶山様ご夫妻の挑戦をサポートした事例をご紹介します。

共感しあう事業者同士をつなげ、事業と地域の課題を解決！



挑戦
1

オール交野産食材のパンをめざして！

中村はカジパン工房のコンセプトに合う地元の農家に心当たりがありました。それは、担当していた無農薬・減農薬の食材を育てるぶどう農家の小笠原様と野菜農家の水谷様でした。お二人を梶山様ご夫妻にご紹介すると、見事にマッチングが成立。中村をきっかけに地元農家とのご縁をつくることができました。そして理想であったズッキーニなどの野菜を活かした地産地消のパンが誕生。また、交野産ぶどうパンの開発にもつながりました。さらに、3者の交流はパン作りだけに留まりません。ぶどうやワイン、新鮮な野菜をカジパン工房の店頭で販売するイベントも開催しました！

私たちは個人農家で営業にかける時間が少ないため、無農薬や有機野菜の良さを知る方の紹介はとても嬉しかったです。



PAPAFARM 葡萄家
小笠原 頌様

水谷農園
水谷 真様

挑戦
2

売れ残りのパンを子育て支援に

梶山様ご夫妻は「売れ残りのパンを誰かのために活かしたい」、「地元の人や、同じ目標・課題を持つ事業者とつながれる場所をつくりたい」という想いから「子ども食堂」の開設を目指しておられました。

その想いを知った中村は、同じくフードロス問題を抱えていた地元の農業ボランティア団体にお話をもち掛けます。その結果、ご夫妻の考えに共感された同団体から規格外の野菜を子ども食堂用に無償提供いただけることになりました。

さらに中村の紹介により、同じ課題を抱える地元農家やケーキ屋さんなど、10者以上が余剰食材の提供などで子ども食堂に協力することになりました。



「子ども食堂」スタート！

多くの人々の協力もあり、2023年3月に店舗の2階で、ついに子ども食堂がスタート！多くの地元の子ども達やボランティアの方々が集まり、賑わいを見せました。当日は中村も運営をお手伝いし、温かいパンや野菜料理をふるまいました。

子ども食堂は、交野の事業者が抱えるフードロスの解消に加えて、子ども達が交流し、子育ての悩みを持つ人々が相談し合える憩いの場として親しまれています。



カジパン工房
梶山様ご夫妻

中村さんは共感してくれる人をつなげ、私たちのことを本気で考えてくれる方です。特に子ども食堂は取組に賛同する方々が集まり、地域の交流が広がるきっかけになっています。



京都信用金庫
中村 圭秀

カジパン工房様を始め、事業者様にはそれぞれ挑戦したいと考えておられることがあり、その実現のためにもできる限りのご支援を目指しています。一人ひとりのサポートから交野地域を盛り上げていきます！

＼京信の／

本業支援

京信のデジタルサポート

「京信ビジネスポータル」で 経営課題を解決！

2023年3月6日より「京信ビジネスバンキング」が
『京信ビジネスポータル』として生まれ変わりました。

京信ビジネスポータルでは、振込・振替などができる
「京信ビジネスバンキング」はもちろん、2023年10月にスタートする「インボイス
制度」や見落としがちな「電子帳簿保存法」に対応できる「Mikatanoシリーズ」
も、便利にご利用いただけます。

利用特典

＼請求書を発行／



Money Forward
クラウド請求書

基本

＼資金を管理／



京信ビジネス
バンキング



京信 Mikatano
資金管理

オプション

＼請求書を管理／



京信 Mikatano
インボイス管理

＼DX化を支援／



京信 Mikatano
ワークス

詳細はこちら



お客様 Interview

京信ビジネスポータルを導入して

京都市内で着物のデザイン、手描き、型染めを手がける有限会社D&A山菱様は、明細書や請求書などを紙で保存しており、「ペーパーレス」に抵抗感をお持ちの事業者様でした。

しかし、法改正への対応や業務改善のためにも、これからは請求書発行・管理などをデジタル化することの必要性を感じられ、京信ビジネスポータルを導入されました。また、これをきっかけに事務作業や指示システムのデジタル化への第一歩も踏み切ることができたという話をお伺いしました。



有限会社D&A山菱
代表取締役
八木 勝 様



京信ビジネスポータルを導入した決め手、
どんなところにメリットを感じましたか？

請求書や領収書は容量無制限で、口座の入出金明細も永久保存できる仕組みにメリットを感じました。導入前にデモ版を使って見せてもらったことで、シンプルだしこれならできそうだと思いました。



京信ビジネスポータルで
どのような業務が改善されましたか？

今まで台帳にまとめるなど、紙ベースで行っていた資金管理がビジネスポータルの画面上で把握できるようになったことです。また、領収書などもビジネスポータルサイト内で保存でき、事務作業の効率化が図れました！

今回のビジネスポータル導入がデジタル化へのきっかけになり、足立さんの案内で「京信デジタル相談会」に参加しました。相談会では、FAXで行っていた工場との受発注作業や、紙で行っていた台帳管理などの改善を相談して、オンライン上で受発注ができるシステムをつくることになりました。導入に向けては、中小企業デジタル化推進事業の補助金申請を足立さんがサポートしてくれました。京信さんのおかげで今は『アナログとデジタルの融合』を目指して、事業をよりよくしていきたいと思えるようになりました。

京都信用金庫
足立 恵実



「ペーパーレスにしたい」「属人化を解消したい」など、業務のデジタル化への一歩を踏み出そうとお考えの事業者様、ぜひ当金庫にお声がけください。一緒に課題解決のお手伝いをさせていただきます！



特別観覧会の
会場として
QUESTIONを提供

京都の夏の風物詩

「祇園祭の山鉦巡行」



クラウドファンディングに協力！

当金庫は、公益財団法人 祇園祭山鉦連合会が祇園祭の持続可能な運営に向けて実施する「京都祇園祭山鉦行事サポーター募集」のクラウドファンディングにおいて、支援者へのリターンの一つ「特別観覧会」の会場として、共創施設 QUESTION の4階「Community Steps」を提供しました。

支援者の方々はガラス張りの会場から、祇園祭の見どころの一つである「辻回し」を観覧され、京都文化博物館学芸員の橋本章様の解説に耳を傾けられました。「初めて見る光景に感動しました。空調のきいた会場で見ると辻回しは格別。また次回も観覧したいです！」と好評でした。



鷹山鉦



三条支店職員

当金庫職員も山鉦の曳き手で参加しました！

後祭が行われた7月24日、当金庫本店の職員10名が大船鉦の曳き手を、三条支店の職員3名が鷹山の曳き手を務めました。

昨年196年ぶりに巡行復帰を果たした鷹山は今年も大人気で、大勢の観客が見守る中、当金庫職員は綱さばきに苦戦しながら鷹山の巡行に汗を流しました。

大船鉦



本店職員

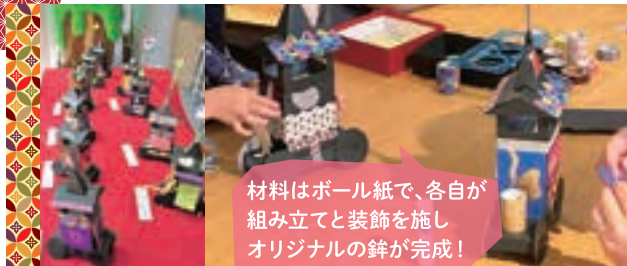
祇園祭の起源は疫病払いのお祭りであり、コロナの完全終息を願って、鷹山を曳きました。

京都信用金庫
湯本 章仁(写真中央)

辻回しを映像でしか見たことがありませんでしたが、自身で体験するという、貴重な経験ができました。今回、祇園祭に携わることができ、改めて伝統文化の伝承や地域との繋がりの大切さを再認識しました。

ワークショップでお祭り気分も盛り上がる

祇園祭の宵々山の日、QUESTIONでは【祇園祭ってなに？ まる・さんかく・しかくでキミだけの鉦をつくろう】も開催され、会場では親子でお祭りムードが高まりました。QUESTIONでは山鉦巡行(前祭)の日まで河原町御池交差点に向けて、子どもたちの作った鉦を展示しました！



材料はボール紙で、各自が
組み立てと装飾を施し
オリジナルの鉦が完成！

当金庫はこれからも、京都、そして日本が誇る文化遺産である祇園祭の持続可能な運営に向けた支援を継続し、ゆたかな地域社会の形成に寄与してまいります。



Cスクエアバックナンバーはこちらからお読みいただけます！
[Click!](#)